

緑中学校のホームページによるこそ！

校長 森川 覚

この度は、小金井市立緑中学校のホームページにアクセスしていただきまして、ありがとうございます！緑中学校長の森川覚(カワ カル)です。本校に着任して二年目を迎えました。

本校は昭和47年に、小金井市で4校目の中学校として開校しました。4月6日の開校当時は2年生106名の船出でした。翌日、第1回の入学式が行われ、243名の1年生が入学し、この年度にオリーブグリーンのネクタイや標準服や校章、校歌も制定され、昭和49年に最初の卒業生を送り出しました。以来、10,781名もの卒業生が本校を巣立っていきました。保護者の方の中にも、本校の卒業生の方もいらっしゃいます。



校章は3本のペンがデザインされ、学びを本分とせよという創立当時の気概がこめられ、校歌にも「真(マコト)の知恵」を学ぶことが歌われています。社会に貢献できる人物になることを願い、緑中生は学び続けています。

歴代の先輩方や教職員が築いてきた46年間の緑中学校の歴史と伝統を受け継ぎ、さらに発展させていくことができるよう努力してまいります。

本校は、「○すすんで学び、高い知性を身につけよう ○社会の一員として、思いやりのある人になろう ○希望をもって、粘り強くやり抜く人になろう ○体を鍛え、健康な人になろう」との教育目標を掲げ、教職員一同が一丸となって、指導に取り組んでいます。ご家庭や地域の方々、関係諸機関の皆様には様々な場面でお世話になることと思いますが、今年度も、本校の教育活動に対して、ご支援・ご協力をよろしく願いいたします。

[平成30年4月10日]